



NIPPON BEARING

4月27日付 日本経済新聞広告 『かくれ雑学』詳細

【世界には 4.37メートルの ドライバーがある】

現在、世界で最も長いゴルフクラブの記録は、4.37メートル（約172インチ）。デンマーク出身のカーステン・マーズさんが打ち立てた記録です。人の背丈の2倍以上もの長さがあるドライバー、一体どのくらいの飛距離があるのでしょうか？ドイツの『ゴルフ・イン・ウォール』ゴルフ場に於いて、マーズさんが出した記録は、180ヤード（165.46メートル）でした。

世界共通のゴルフ規則に於いて、ゴルフクラブの長さには制限があります。

- ・全長457.2mm（18インチ）以上であること
- ・パターを除いて1,219.2mm（48インチ）以下であること

世界一長いドライバーは、通常のゴルフクラブの大よそ4倍の長さがあるのですね！このゴルフクラブ、実際に使えるとは言え、長さだけでなく重さも相当なため、実用性には欠けるものようです。

さて、直動ベアリングの世界にも、大変長いシャフト（軸）が存在します。こちらは、長さを誇るだけでなく、実際に活躍しているものです。活躍の場所は、掘削機や三次元測定機で、その長さは最長6メートル！

リニアシャフトの役目は、荷重を安定的に運ぶためのガイドです。従って、

- ・『たわみ』や『表面粗さ』などが極力無い
- ・耐摩耗性に優れている（繰り返しの往復運動に耐えられる）

等々、精度の高い製品が求められます。

しかもリニアシャフトの場合、リニアの言葉通り、直動=まっすぐ、が要求される製品です。

『まっすぐ』で『長い』ものは、より一層、精度を上げるのが大変です。

直動ベアリングのシャフトは、単なる軸では無く、長年の加工技術に裏打ちされた高精度な製品なのです。

6メートルものリニアシャフトは、まさしく最高技術の結晶と言えるでしょう。

【企画・協力：(株)学研エデュケーショナル】